

IV部 気象および発生源

この部では、大気汚染濃度に影響を与える気象要素及び発生源について報告する。

1 季節別の最多風向と平均風速

千葉県内の125局について、季節別の平均風速と最多風向を図1-1に示した。

4～6月：東葛、葛南、千葉地域(中央区除く)はSSW～S系の風が卓越し、これらの地点の平均風速は3～4m/sと他地点と比較しやや強い傾向であった。千葉中央区、市原の沿岸部はN系の風が卓越し、周辺と異なる傾向となった。君津から袖ヶ浦市の湾岸地域はSW系の3～4m/sの風が卓越し、市原君津地域の内陸から海岸に向けてSE系～E系の2～3m/sの風が卓越した。北総、成田地域はNE系で1～2m/sのやや弱い風であった。

7～9月：4～6月と同様に、東葛、葛南、千葉地域はSSW～S系の風が卓越し、君津から袖ヶ浦市の湾岸地域はSW系の風であった。市原君津地域の内陸から海岸に向けてSE系-E系の風が、北総、成田地域はNE系の風であった。風速は4～6月に比較しやや弱い傾向となった。

10～12月：全体的にはNNW、N系の風が卓越した。風速は3m/s以下の地点が多かった。鋸南、富津、君津の内部の地点ではE系の風が、茂原、一の宮ではW系の風が卓越していた。

1～3月：10～12月と同様な傾向であったが東京湾岸の風速が3～4m/sと10～12月よりやや強い傾向であった。

注：カームについては、0.2m/s以下の測定局と0.4m/s以下の測定局が混在しているため、0.4m/sに統一した。

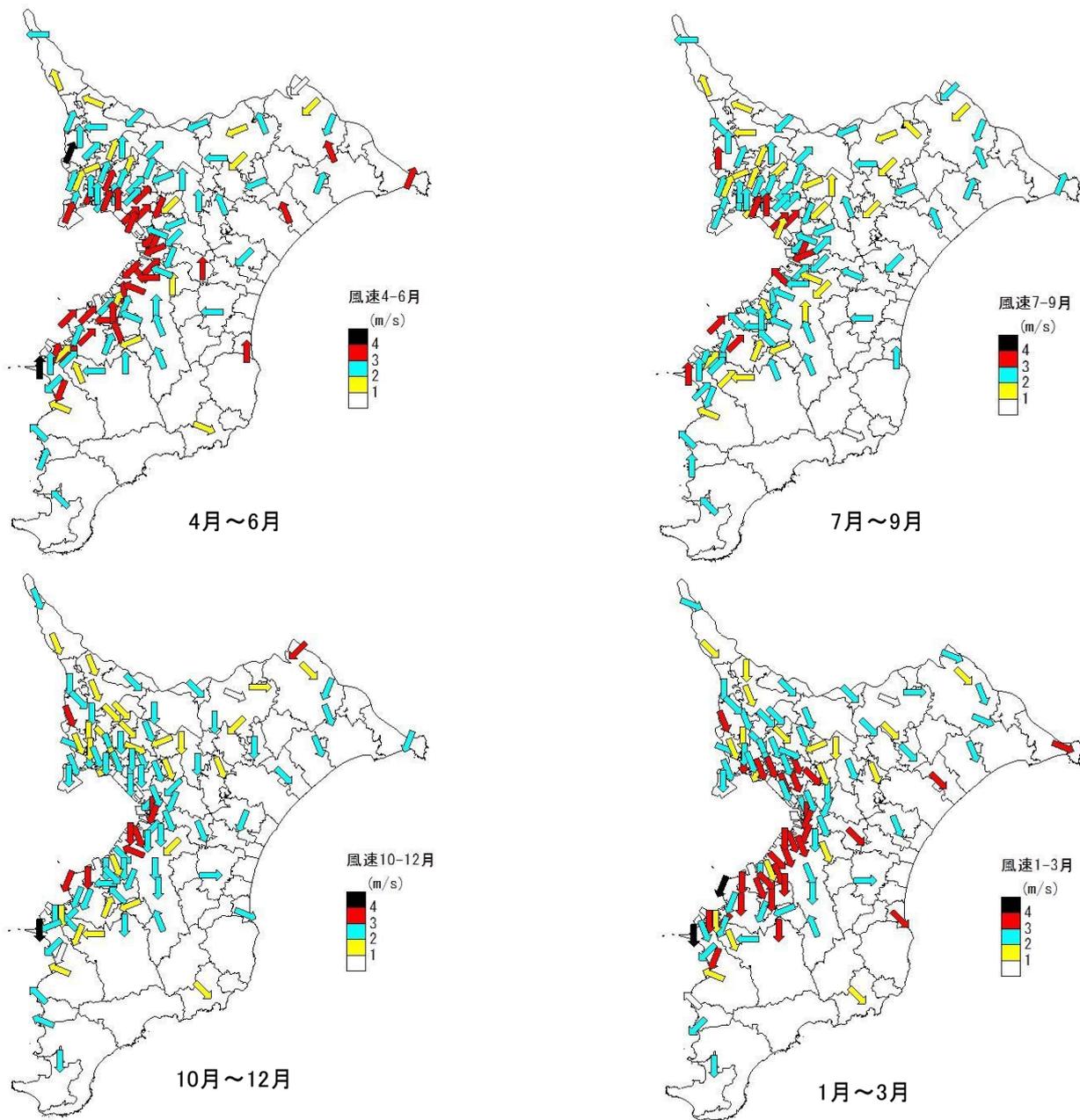


図1-1 最多風向と平均風速

2 県内の地域代表局による風配図

県内の地域代表として、地理的に分散している18局における風配図を、年間および季節別に示した。カームについては、0.2m/s以下の測定局と0.4m/s以下の測定局が混在しているため、0.4m/sに統一した。

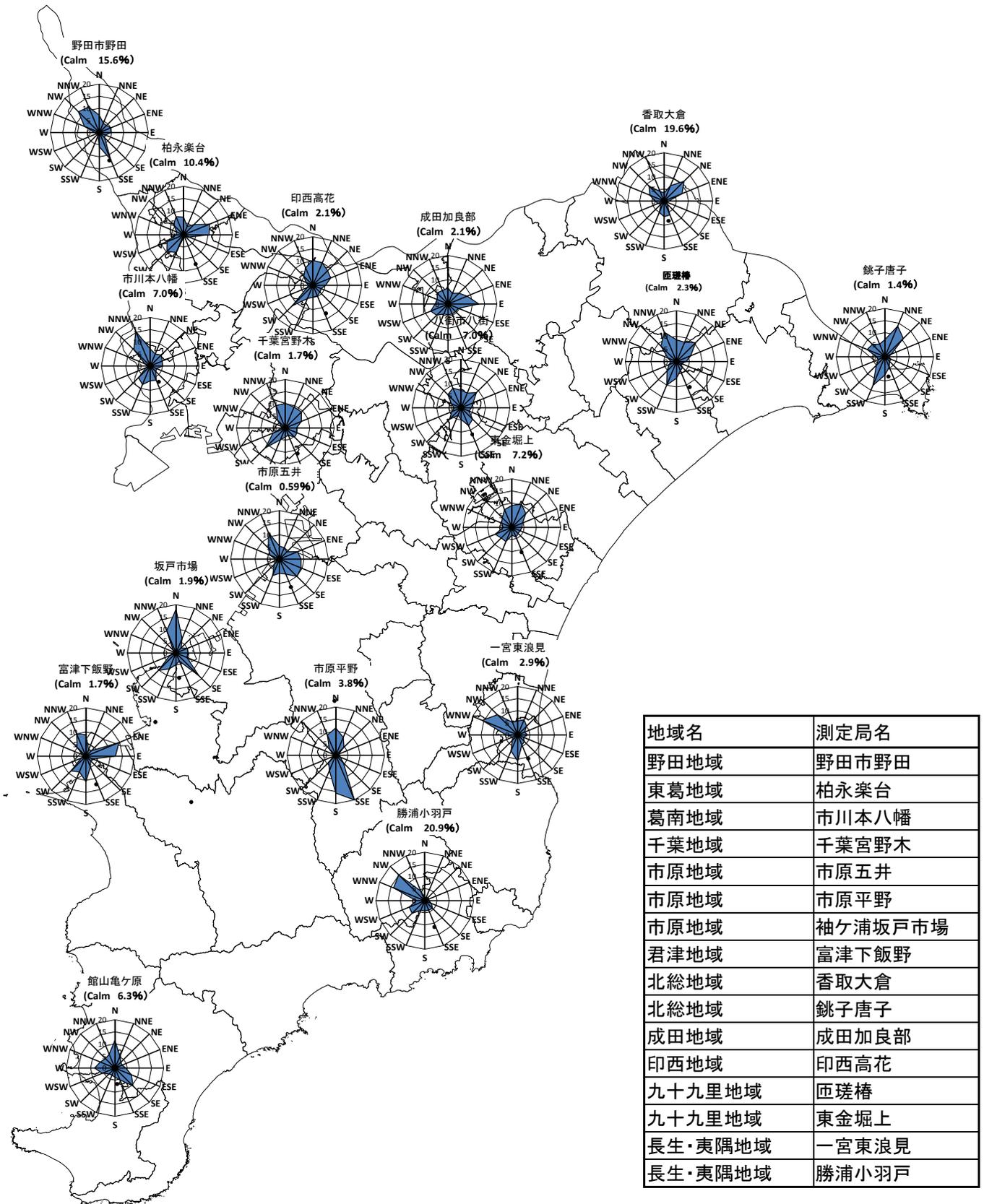


図1-2 風配図(年間)

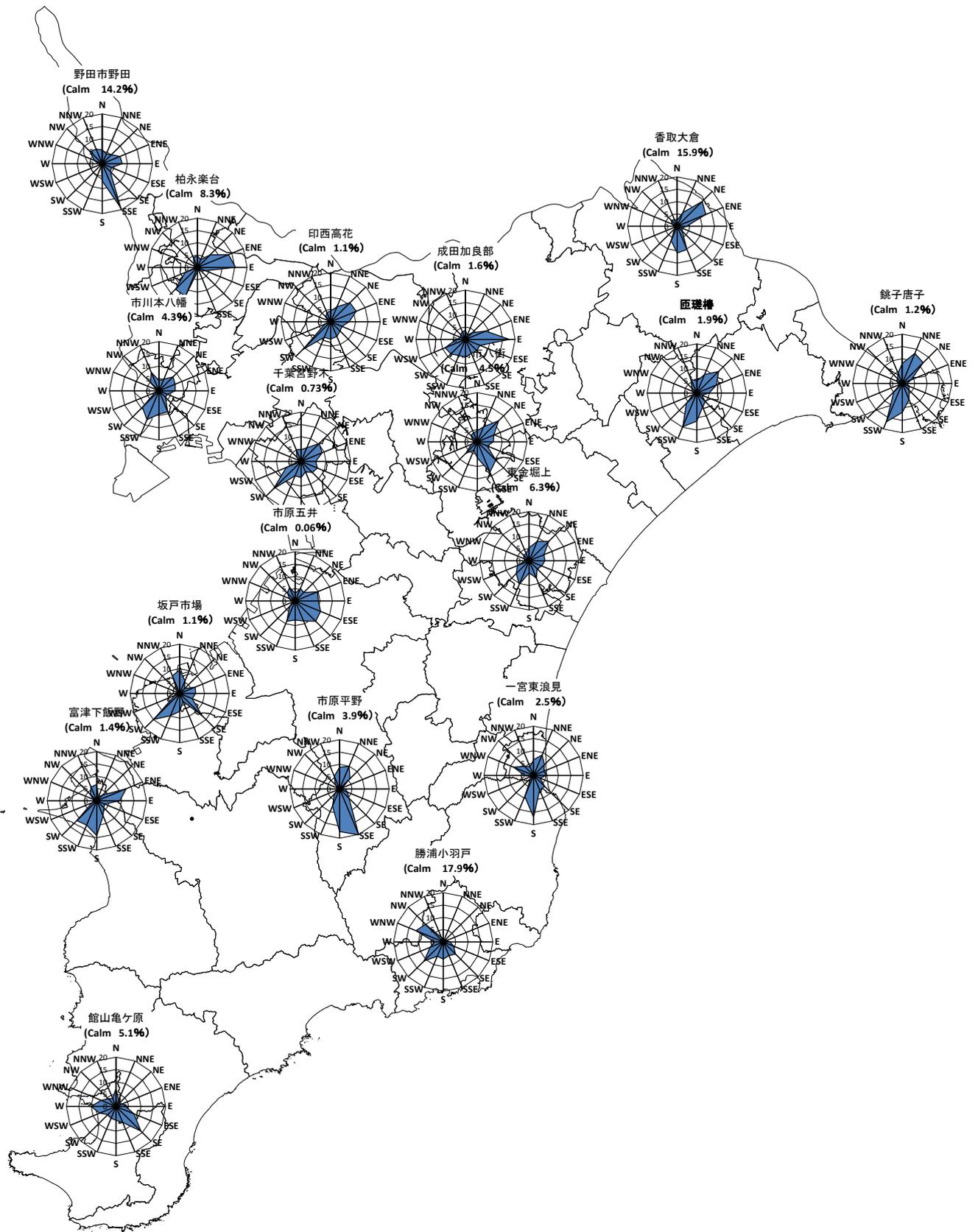


図1-3 風配図(4-6月)

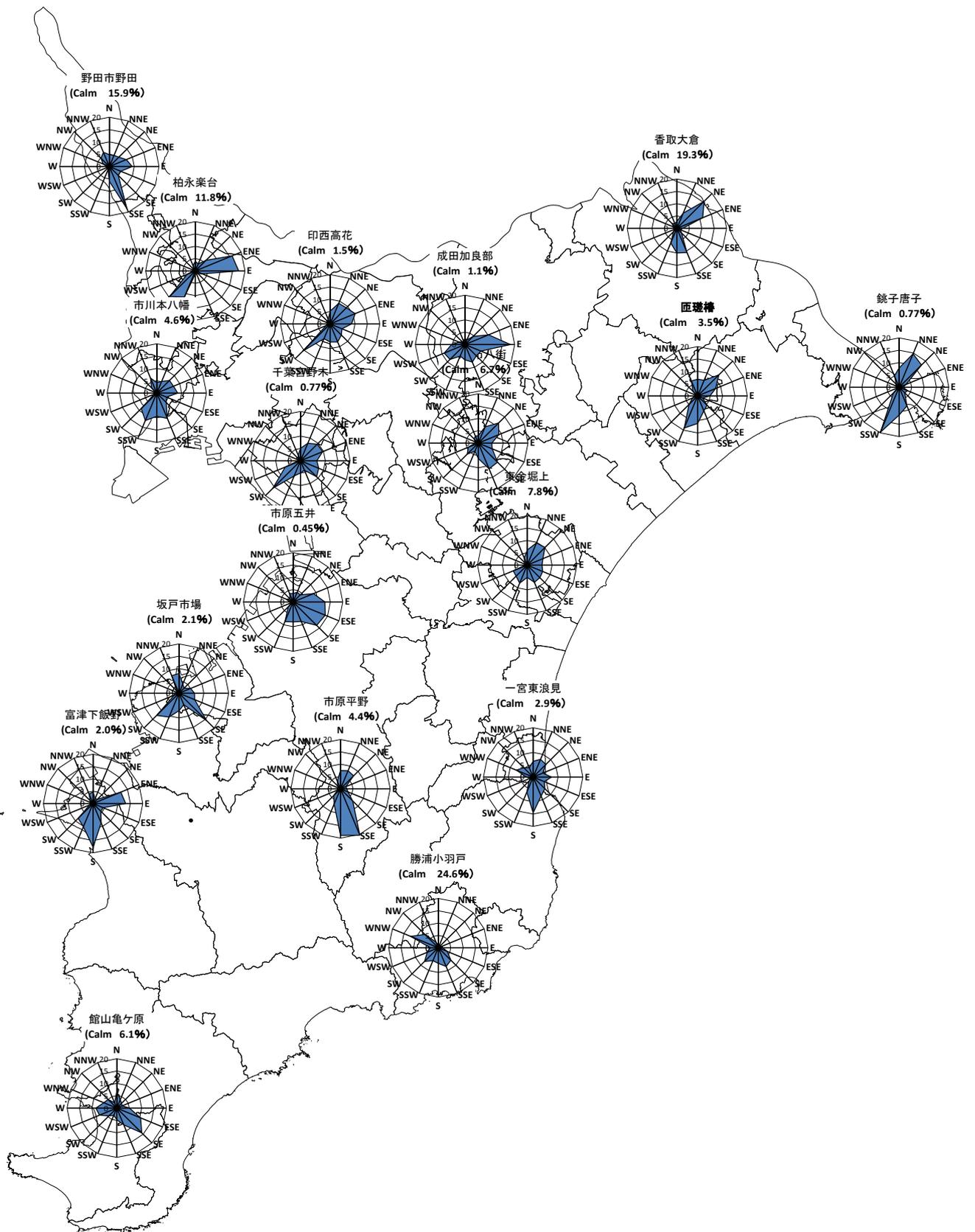


図1-4 風配図(7-9月)

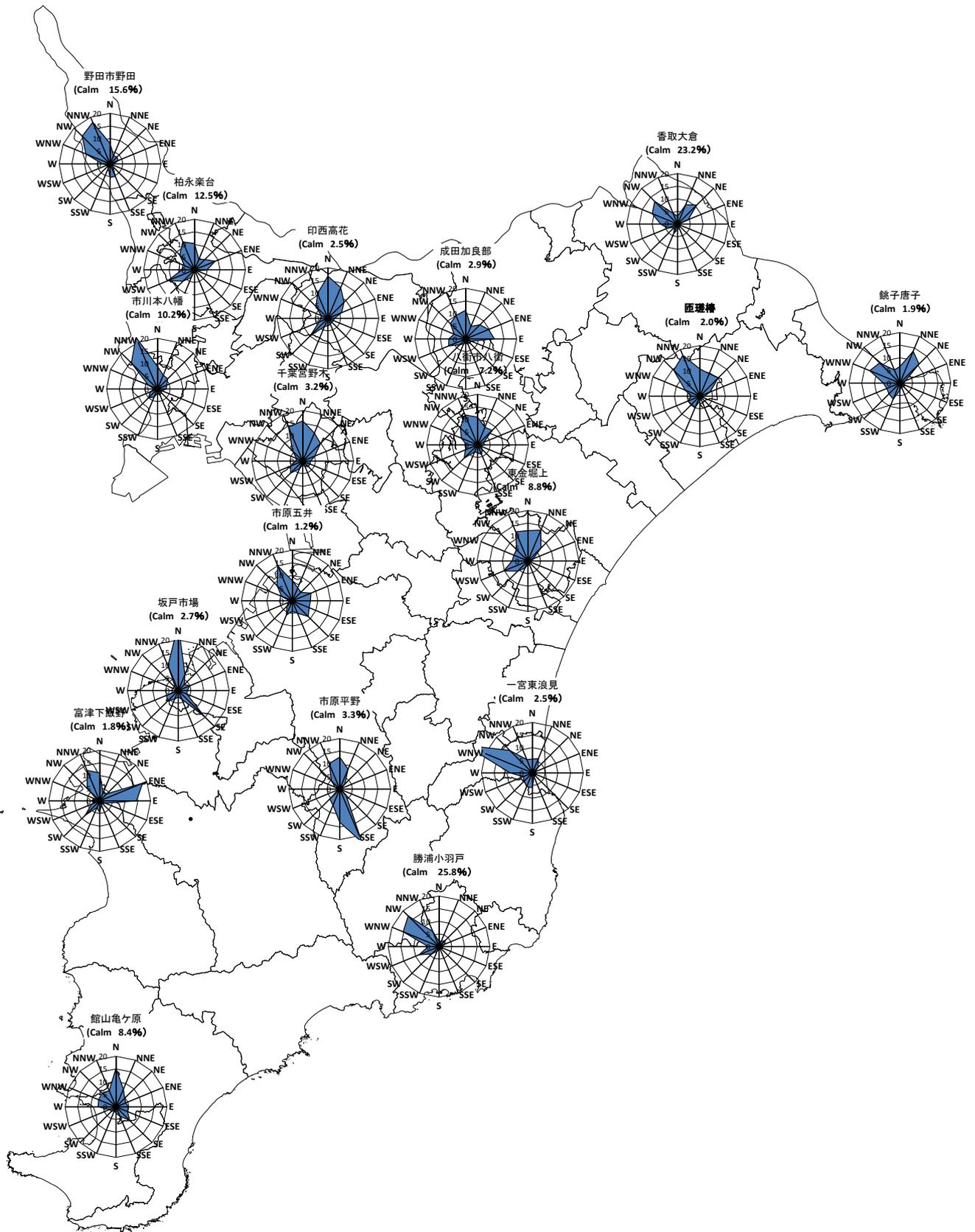


図1-5 風配図(10-12月)

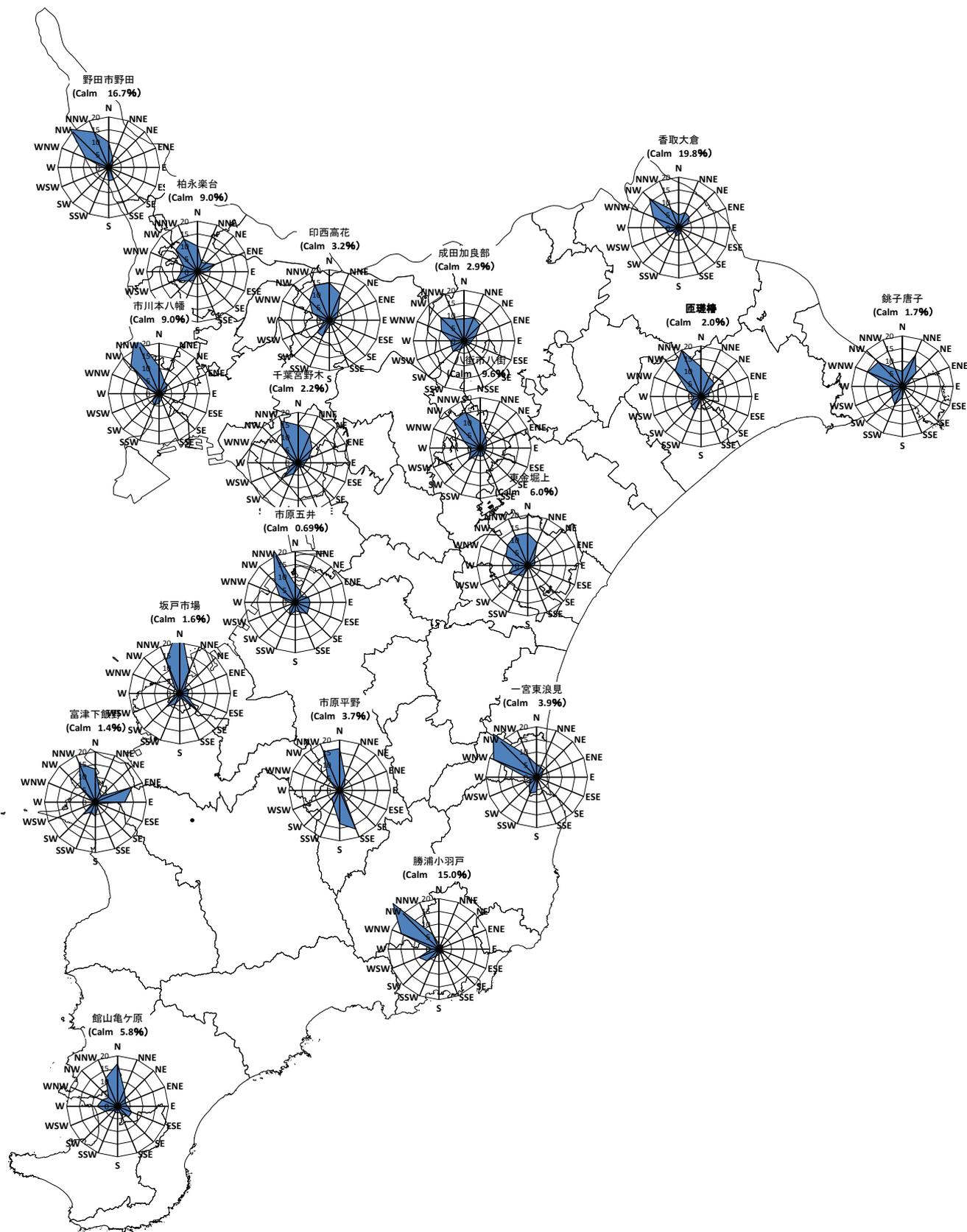


図1-6 風配図(1-3月)